古言梯掌故

十四

和書門 類
二五〇九二號
九六函
七架
三一冊

内閣文庫
和書 類
二五〇九二號
二〇七函
三一冊
一三架

内閣文庫		
番號	和 25092	
冊數	31	(15)
函號	207	249

国立公文書館
National Archives of Japan

古言梯掌故　十四

○とノ部

と
古事記景行記　斗加麻迩　集十ノ六右　利

心
同十五九　情利（コヽロト）　十二ノ七右　鋒心鋭

先（モトキモリ ナレハ義訓ナリ）
十七ノ廿七左　コヽコトカナ　十九ノ十七右

情トノナリル日モ無シ　ウレタカヘルカナリバル　ハヤフラケルハナリ　六ノ五十四
龙ヤキタナノトコヽロ　十二ノ八右聡神（サトキコロ）　▲延喜
式才八六月晦大祓祝詞云彼方之繁木本
手燒鎌乃敏鎌以豆打拂之如久云　云

と　八ノ卅四龙浪音（ウキツ）ノ　二ノ四十之浪　九ノ
卅五浪　十一ノ十四右足音　十四ノ十九右可
是乃茅鉏　月六一龙稱乃登乃　四ノ六龙夜音
之遠音尓モ　十九ノ六八龙遠音

と　日本紀十卅八由羅鉏斗鉏斗那訶鉏
集三ノ十六右自明門　月六四四龙島門ヲ見

八四ノ十九龙河門ノ瀬ヲ廣ミ　六ノ七十七龙天原
門度光　十ノ六九右川門ニ立テ　ム川門ニ座テ
月卅一龙河門八十有　瀬ト云（カゴトシ）　十六ノ卅一龙神之
門渡ル　十九ノ四十右河戸ノ　▲右ノ外多クハ
瀬戸ノナリ門ハ添タルゴトシ水ノアル所門ノ字
ノ心　或六ノトワタルハ月ノ空ヲ過ルカ舟ノ海
ノ面ヲ過ルニ比シテイヘルナルヘシ　増○シキト
セトナトイフコトク川ノセヽノ水ノヒトツニナリ
テセバキ所ヲ過ルヲイヘリ人ノ家ニ門アルカ下
シ人ノ咽喉ヲノムト、イフモ呑門トイフ心ナル

ベレト関レハ節所ヲオホクノ門トイヘリ ○ユラ
ノトアカミノト神ノト天ノトワタルナドハ節所
トハミエズ
ノイカヽ
カニ 十五ノ卅三丁 月廿四右 十九ノ十四右 廿ノ
廿三右ワガヽヘルトイ子 ▲トキヲ略メトヽヨメリ 才
十六ノ卅一右塩ヌリ給時云 右才十ノ歌ヲ六
帖ニヨノフケヌトキニトアリ 然オ九ノ歌ヲ風雅
ミワガヽヘルトキトアル
ミテノモレルヘシ

と 日本紀十七 千魔伊袮矢
度你 集十ノ六右 夜之不深

と ナテ二右ナコヒト
ニテ廿一丁句ノ念點

と 十四ノ九左カナシキヲトニタテメヤ
モ 十五ノ卅七丁御馬屋ノトニタテヲミシ
十八ノ卅六丁ヌレノトノ外ニ
十七ノ卅一右 △外也
同卅二右五トコレ所也 色 廿ノ五十四右ノ麻刀
コレ所ノ名ナラミイヘダ何レトモ見ヘズ

ど 所也 十四ノ十五右子ド寝起
同廿四右袮度

とかり 十七ノ廿八
右鳥猟 十ノ廿六右鷹田 十九ノ卅七左始鷹狩 十四ノ十
七右 十七ノ四十五左 共ニカナ ▲鳥ヲ取レバテキルレドモ鷹狩也
○源氏夕霧巻ニモノオレタル鳥ハセウハモノヽヤウナル云
鷹見也雄也タイハ鷹ノ弟ニテ 鳩也鶏ヲモ鳥ト云フニ同

シ 閲ㇾ箕裘之 字書曰鷹鷂 薄紅生 鵟鳩天
○故鳥新羅鳩鵰百済倣雄高麗是未詳仁徳紀ニ云百
済俗号ニ此鳥ニ曰ニ倶知ニ是今時鷹也引書ノク
チニ是歟 和名鈔同ノキ可志峯ニ七ノヨ不
峯ナ とかんかも 七ノ卅二左 とがれ木一ノ
リ かも 三ノ廿十三右
十六左樛木ノイヤツギく 三ノ末九右 六ノ十右
十九ノ四十二左 同撰カナ 十七ノ四十二右 △今常ニ用杖也
樛ハ周南之什篇名樛木 又カ照及木名今栂
ノ字ヲ用ルハ不審 此集多クヨミタリ今現ニ材用

イカデ字 さくさが 八ノ廿三右山ノ常影 十ノ
ノ不随哉 四十左山ノ跡影△字ノ如シ
とかめん 四ノ四十九右 凡流ナミ音為ルワザヲ害
目給フナ 十一ノ八左人ノ見テ言害不為
夢ニ 下十三左同 続日本後紀十九咎有止宥ま賜部
△トガ トガメ 同意ノ訓今ハ躰用ニワカレ用ユルナリ
神代巻上 愆トガ 舒明紀 瑕トガ
霊異記 缺トガ ときハ 玄ノ末四右常
ノ二有ラメ 三ノ
末五右常盤成ルベ 五ノ十右トキハナスカ 六ノ七ハ左常盤
座ス 盤ニ偏也 下廿三右常盤之樹 七ノ十一右石逝相ト

時齒成　十八ノ廿八常盤ナス△神代巻盤石　古事
記上常盤　トコイハヽ古以及幾ナリミルベシ
ときかつて　三ノ四十八左帯解替而△ヨバヒカフ
サマヲヨメレバアラタメツクロフ儀
ナルベシトキカハシナニド枕ヲカハス儀
ニハアルマジ○允恭紀御歌ニサヽラカタ
ニシキノヒモヲトキ　サケテ云々○オナノ
廿三右級解易之○トキカヘハ我モトキ人
モトリ　ときふあへぬ　十ノ廿三モ　同異之　とき
ナリ　八ノ廿モ

はあれと　十七ノ七右　廿ノ十二右　ときさしも
三ノ五十六左　古今集時しモア　ときとゐ
レ秋ヤハ人ヲ別ルヘキ
く　九ノ廿二右　十三ノ廿四時ト無ク　同異九時トモナ
クモ　十七ノ九三右時トナクコリ
ときのかせ　二ノ四十七左時風　六ノ廿二右
七ノ十四右　十三ノ四十右△時ナラ
又風ノ心狭　集例ニ八　ときならぬ　七ノ十四
カ風大風ノヤウナリ

八ノ五十七左題　十四ノ八左　ときさ
ノ歌△非時也　ときしあらさ　同十四左
まつも　十五ノ廿二トキてツト人ハ思ヘ
ト月リヘ二ケル△此中待ト思
ヘト月リヘ二ケル△此間　ときつくる
ト待ト思フナリケリ
鳴　十ノ六右　同廿三右　ときのゆかれ
六ノ廿二左
八　六ノ四十五右　十ノ七右春ヘトナリニシ
モノトテノユケレハ　同四十二右秋過

ヌラジ　十三ノ十三左アキユケハトキノユ
ケレバ　十四ノ三左時ズキニケリ△時
ノイタレバナリ春サリテ　又春サリニ
ケリト云ガ春来ニケリト云コトロニ些ズ
ときのさつわ　十八ノ廿六右　十
七ノ廿七右　十五
ノ十九左　ときはあるかき　十六ノ廿
時ノ盛リ　五左カ
キ人ニナトキアケニムカモ續日本後紀
太宰ノ往来書中路ニテ見ルヿヲ禁ズ

さゝにのくひ衣　七ノ吹左解濯衣之
十五ノ吹右トキア
ラヒコロモ　十二ノ十八左　十ノ吹三
左トキヽヌノ思ヒ乱レテ　十一ノ十三
トキヽメノ恋乱ゝ　同吹四左　十二ノ
十四左トキヽスノオモヒミタレテ
さゝしハあらむ　十七ノ吹三右○
十九ノ吹八右○
四ノ　さゞさし　四ノ吹四右真十鏡磨
吹右　之情　十三ノ吹九右

禁秘　掛刀貝衣
唐衣躰也結中
さしえへふる　十ノ五十
三左ケフクトイフコトヽリヘニケル○
四ノ吹三左君ニナハステトレリヘニケ
ル十三ノ十二右イモニリヘトジリヘ
ニケル十三ノ五左　同十二右モオナジ
さしハヘぬ毎く　六ノ四十二右○
亦ノ吹六右
さしふひりく　十九ノ亦右　同
亦一毎年ナリ

十五ノ十八左一年ニ一夜逢ナリ　廿九
ノ四十三左マタリオナジオモムキナリ
としはのころ　十四ノ廿七左　ゆうのえ
五ノ十七右トレノハノ春ニ来タラハ
六ノ十左毎年ノカクリモミテシガ　十ノ
九右トレノハニ梅ハサケトモ　同十七
左弥年モノハニ　廿六ノ六左　十七ノ
卅六左加　十八ノ廿四右徃更年ノハゴ
トニ　十九ノ十六右毎年ニ来鳴○毎年

是ヲ等之乃波ト訓シス　又同四十三右
立年ノハニ　廿ノ十二左ヤヘスカヨハ
ムイヤトノハニ加　續日本紀十九越
毎年尓春波有礼麼云ホ十九ノ自註是幸
ノ證　十二ノ廿五
也　としのうちとも　コトシコス
旡　十四ノ十二日　としはわたらは
トシハコストモ
十九ノ　としはちめ　十九ノ亦二右○
四十二左　同四十七右　廿

ノ六十三右　それを　四ノ廿左　十
年ノハジメ　一ノ十六左璞
之年緒長言恋将居　十ノ廿二左　十九
ノ十一右去更トシノヲ　廿ノ十四右年
緒ナカク△マタノヨニ
ヒトシツドクモナレハ也　そゆきかて
十五ノ十二右　廿ノ五十七右　十七ノ
廿二左　十八ノ廿左トシユキカヘリ
そのやうらせをきる髪　十三ノ廿
四右歳ノ

八年ヲ斬髪ノ吾同シ子ヲ過　九ノ廿五
左同△女ノ年ヨキホドニナレハ髪ア
ケ髪ツキナト云テサキヲリクナリキル
カミトハ此ノ後ナリサテ髪ノ十カクテ
其タケニアヘル心ヲワカ身ヲスグトハ
イヘリ　オニノ共ノ人ミナハ十カミトタ
タケトイヘト君カミシ髪ミタレ伊
勢物語ニフリワケ髪モ眉スキヌトヨメ
リトシノヤトセハアマタトシノホト
ヲ云ニトテカクイヘリ其例多シ　オ十

一ノ四十七左年之八歳ヲ吾霜てしゝ
十六ノ廿五左年ノ八歳ヲ待ト来てサス
十八ノ廿九右年ノ五年　伊勢物語ニア
ラタてノ年ノミトセヲ侍リヒテ
としふかく　三ノ廿七右昔者ノ旧
堤八年深　四ノ卅四
右六ノ四十一左松幾代カヘヌル吹風
ノ声ノスメル八年深カモ　十九ノ十三
右ツヽヲ見ハ根ヲハヘテ年深ラヽ神サ
ヒニケリ△年久キナリ池菅根ナドニカ

ケテフカヽトヨメリ沖六八サヤウノタ
ヨリモナタタバ年フリタルヿニヨメリ
俗ニ歩サク過タル人ヲフケテ
見ユルト云夜之類歟（業ルニ夜之ハヤウノ誤乎）
としはゑへるん　七ノ廿九右　同四十右○
十一ノ十二左　同廿九左
としの急　十ノ廿八右　十八ノ卅四左
としきは
よりまて　十一ノ六右年切及世定時△年
極マルノ意ナルベシタノメヌ

ルハ偕老同穴ノ心ナリ夕てキハルトア
ルニ同意ナリ○コレオノヅカラたノ条
どち 日本紀九ヱ 于摩臂苔奴知野
又 伊従姑奴池 集八ノ卅九右思
人共 同四十四左思共 同五十八右念
共 十二ノ廿七左已之妻 十九ノ卅八
左客別度知
△如字多詞畧
とのゐどころ ナミ 四左礒
津宮地 二ノ廿二左常宮所 同廿九右
常ツ御門 六ツ十二右△トコツ宮所ニ

テ常ニメカハシヌヲ云リ仁徳紀宮ノ一
字ヲモトツミヤトヨメリ 宮所ハ三諸
ノ神ノ宮ヲイヘリ○倭姫世記ニ外宮ト
カキテトツミヤイフナリサモアルベシ
とゝく 古字神武記三麻斬登々艮メツク
ナドリ△てしハ汝也イてしメ上
畧ナリ彼千鳥ヲサセリツヽ千鳥ヲ喚
声ナルベシ集ニツヽトヾ云詞ニ喚雞トカ
ケルヲ思フベシ然レハ登々モツヽニ通
メ千鳥ヲ呼詞卒俗ニ鳥ヲ呼ニトヽヽト

イフハ　十丁廿八右馬音ノ跡蹄ト
送諾歟　とゞし　モ為ハ△轟也動也九ノ廿
ハ右タ塩ノ満ノ登等美尓トヨメルハト
ヨミセ又ハ下ニ蚊タリ　十四ノ廿一右真木ノイタ
ドシ等ノ様　とゞろ　四ノ卅二右礒モ動
トシテ　ニ因ル浪　六ノ廿
右宮モ動々ニ　同四十六左宮モ動郷音京
十三ノ四左瀧モ動々ニ　十四ノ九左ナ
ミモトゞロニ　同十右イハモ等様ロニ
オツ尺水　十八ノ廿七左サトモ等騰ロ

ノ字清歟　白氏文集ニ尋常トカキテヨ
メリ　七ノ十六左朝霞不止　九ノ九右
不止時往来　三ノ廿九右
十ノ廿九左　二ノ廿八右　とゞつ
五ノ四十右アガヨトバミツ
とはん
世間ノ道△俗ニイナセミレト云
日本紀十三故廿ニ　和渕島斗波輸灘　万十
八ノ廿七右△同我也ワレニト云ヘキヲ
鳥トヨメルハ古哥ノ習ナリ斗波輸ハ同
ノ古語也　儺ハ助也次ノ上ニ千倍儺々

アルニ同シ　古事記ニ斗比多麻閉云々次
ニ四句アリトハズナド、ツヾケテ不為
問トヤウニ心ウベカラズ　今按古事記
中廿六右是御子八拳鬚至ニテ心前真言事
登波受三字以音コレヲ以テ見レバ我ヲ曰句
歟　万十ノ五十三左不問ムコレイハヌ
ニノ　廿ノ四十六右花ノミトハ
心也　といん　ンコレイハヌナリ
といぬ日　はひの条下ニ出タリ
とひさくる　三ノ

五十四右問放流親族兄弟　五ノ五左石
木ヲモトヒサケシフス　十九ノトミ左
語サケ見サクル　人眼△ウレフルコトナ
トアルヲ人ノトヒカタリテ思ヲヤルナ
リ卅五サヤウノ心ミリノ人モナキカタ
ニテ非情殊ニモノイフベクモナキ石木
ナレバヤラムカタナキ意ナリ見サクル
モ見ナリサムト云意ニテノコヽニ同シ又
の条下ニ出タリ△允仁紀ニ永チノ薨ス
ル時詔詞ニ朕カ大臣誰亦加我語比佐気牟乾毛

コノ御詞ニ同　とひし　十一ノ廿二右
ミコナリ　同廿三右△イ
ヒミナリコト、ハ　五　廿六左ヒ領
ヌモノトハスナリ　とふ　しゅレフリキ振等數
十四ノ廿八左カラス烏等布　十五ノ廿そ
左サヌトフモノヲ　同十五左タヽニモカ
ルトフ　ナ九ノ廿九左イツ齊クトフ　廿
ノ十六右ハ、トフハナヲ　十一ノ廿四
右跡云△トイノ反チニ通或トイフノ上
畧ナリ後ニテフト云モトイノ反ナナル

ヲ二四通メ　とふやとりもむかありそ
テフト云リ　三ノ廿七左
のほらん　△折ニ小書　とふとり
のきや　六ノ廿五　四ノ　とふとり
卅そ　同廿四
のあすか　廿　二ノ廿九右飛鳥ノ明日香
ノ里　三ノ卅そ左トフト
リノアスカノ河　同廿ニ右　十六ノ八
飛鳥壮△飛鳥トカキテ則アスカトヨメ

ハルノ日ヲカスカノ里ト云例ニ詞ヲ重
テ枕詞トヿルナリ然レドモ飛鳥トカキ
テアスカトヨミ春日トカキテカスカト
ヨメル故イカニトモ未勘　天武紀云白
鳳十五年秋七月乙亥朔戊午改元曰朱鳥
元年仍名宮曰飛鳥浄御原宮オホミメス
申アリテ年号改宮ヲモ名ヅケサセタマ
ヘルナリ仍ト云字心アリテ宮モ名ヅケ
玉フト見ヘタリ飛鳥トカリトブトリア
スカトハツヾケタルナリ天武紀以前モ飛

説文云烽燧 峯遂二音 度布比 邊有警則挙之 唐式
云諸置烽也〇烽炮ノロシノ類コレニア
ル

とほのみかと

二ノ廿四左遠之御門 大王ノ六ノ朝廷
十五左食國　五ノ五右大王ノ等保ノ朝
廷　十五ノ廿左功　同廿三左スメロキ
ノトホノミカト

大日本帝國圖書印

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan